

保護者向け

保育所等訪問支援評価表

(保護者の皆さまへ)

○ 本評価表は、保育所等訪問支援事業所を利用するお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」のいずれかに○を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。	☐				
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	☐				
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	☐				
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	☐				
	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	☐				
適切な支援の提供	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	☐				
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）（※1）が作成されていると思いますか。	☐				
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	☐				
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	☐				
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	☐				
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	☐				
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	☐				
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	☐				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※2)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	☐				
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	☐				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	☐				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	☐				
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	☐				
19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	☐					

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	☐				
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	☐				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	☐				
	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	☐				
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	☐				
非常 時 等 の 対 応	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	☐				
	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	☐				
満 足 度	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	☐				
	28	事業所の支援に満足していますか。	☐				

※1「保育所等訪問支援計画（個別支援計画）」は、保育所等訪問支援を利用する個々の子どもについて、将来に対する見通しを持った上で、その有する能力、訪問先の日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、「利用児と家族の生活に対する意向」、「総合的な支援の方針」、「長期目標」、「短期目標」、「支援目標及び具体的な支援内容等」（「支援目標」、「支援内容」、「達成時期」、「担当者・提供機関」、「留意事項」）を記載する計画のことです。これは、保育所等訪問支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※2「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの障害の特性やその特性を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶことにより、子どもの行動変容することを目標とします。

訪問先施設向け

保育所等訪問支援評価表

(訪問先施設の皆さまへ)

- 本評価表は、保育所等訪問支援事業所を受け入れている訪問先施設の方に、保育所等訪問支援事業所の評価をしていただくものです。
 (詳細につきましては、別紙「保育所等訪問支援における評価制度(自己評価・保護者評価・訪問先施設評価)の導入について」をご参照ください。)
 ○ 「はい」「どちらともいえない」「いいえ」のいずれかに○を記入するとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	☐			すぐ実行できる内容が多くやりやすかった
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	☐			丁寧に支援の仕方を提案してくださって助かった
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	☐			訪問した日に電話で今後どういった支援が必要か助言をいただいた
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	☐			
5	事業所からの支援に満足していますか。	☐			

その他、お気付きの点をご記入ください。

園側の方針を第一に考え、共に支援を行なってくれた
 子どもの成長と一緒に喜び合えたことが一番嬉しかった
 毎月訪問者がよく子どもを見てくださり、円でもできそうなことを伝えてくださった。

 設問の4と5は、訪問支援の依頼をしているのは登園ではないので、評価できない

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童発達支援センター さざんかキッズ		2025年6月6日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	☐		座位保持椅子のテーブルの使用の仕方を 助言することができた	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	☐		専門職（PT）も訪問することができた	
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。		☐		訪問支援員の単独の支援が多くなってし まうので情報共有していきたい
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	☐			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	☐			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	☐		6年度実施することができた	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。		☐	訪問する支援員は固定化されている	支援内容を周知する研修を開いていく
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	☐		保護者のニーズ、利用児の状況を踏まえ て作成している	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	☐			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	☐			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。		☐	保育園側の意向について支援計画の中 では確認しきれていないところがある	情報共有をしていきたい
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	☐		児童発達支援事業の方で使用しているア セスメントを基にしている	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	☐			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	☐			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	☐			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	☐			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	☐		訪問先の意向に沿って、支援することを 心掛けている	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	☐			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	☐		連絡を密にとり、保護者や訪問先の意向 は確認するようにしている	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	☐			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	☐		必要に応じて連絡を取っている	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	☐		必要に応じて連絡を取っている	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	☐			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	☐			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	☐		保育園の利用日数が極端に少ないため状況の把握に難しいところがあった	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	☐			研修会などの情報発信をしていく
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	☐			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	☐			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	☐			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	☐			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	☐			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	☐			
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	☐			ホームページにて事業の概要を記載している
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	☐			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	☐			
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	☐			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	☐			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	☐		支援後は必ず電話もしくはメールでの報告を実施している	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	☐			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	☐			

非常時等の対応	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		訪問先の先生のお困りごとなどを聞き取りそれに即した支援ができている	
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		児童発達支援事業と共有している	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		児童発達支援事業と共有している	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		児童発達支援事業と共有している	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		児童発達支援事業と共有している	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		児童発達支援事業と共有している	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター さざんかキッズ			
○保護者評価実施期間	7年 3月 1日 ～ 7年 3月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数)	2名
○従業者評価実施期間	7年 3月 1日 ～ 7年 3月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数)	2名
○訪問先施設評価実施期間	7年 3月 1日 ～ 7年 3月 31日			
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	2か所	(回答数)	2か所
○事業者向け自己評価表作成日	7年 3月 31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験、知識のある訪問支援員を派遣できる	利用児の状態把握を的確に行ない、保護者や訪問先のニーズにきちんとこたえることのできる訪問支援員を配置している	訪問先との連携を強化し、情報共有を綿密に行なう
2	保護者へのきめ細やかなフィードバックをしている	保護者の要望を聞き取り、訪問時間帯をそれに合わせて支援することで、より保護者の満足度が得られるよう支援し、その結果を報告している	保護者の思いをより細かく載せた支援計画を作成し、それを訪問先とも共有していく
3	専門職（理学療法士等）を同行させての支援ができる	利用児の状態によっては、専門職から直接訪問先の担当者に助言することができる	今後専門職が関われる頻度を保てるようにしていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	新規契約者が少なく、稼働率が低い	基となるさざんかキッズは週5日の通園施設なので他施設との連携が取りづらい	保育所等訪問支援事業を実施していることを広くアピールしていくことが必要
2	訪問支援に携われる人材の確保	児童発達支援事業の人材確保と細やかな訪問支援のできる職員が少ない	さざんかキッズ全体での保育所等訪問支援の役割についての周知、研修
3	訪問のための移動手段、移動時間の調整	公共交通機関のみの利用での訪問は、その移動時間が長くなることが多く、支援時間を超えた移動時間になっているケースがある	訪問先について、系列のとのこキッズとのエリア分担分けなど、法人全体での取り組みが必要